

諏訪地方の経済概況速報

平成25年9月

(平成25年8月末調査)

平成25年9月25日

長野県岡谷市郷田二丁目1番8号

諏訪信用金庫
経営相談室

<http://www.suwashinkin.co.jp>

TEL 0266(23)4567

FAX 0266(23)8044

		実 数	前年同期比	
有効求人倍率【 7月】	諏訪公共職業安定所管内	0.84 倍	0.06 ポイント	
手形交換高【 8月】 (諏訪手形交換所扱)	枚 数	5,125 枚	△2,115 枚	
	金 額	6,339 百万円	△2,943 百万円	
	うち不渡り	枚 数	3 枚	△3 枚
	発生状況	金 額	1,970 千円	312 千円
電力使用量【 8月】 (中電諏訪営業所管内)	電灯電力計	45,185 MWh	2.7 %	
	高圧電力計	97,788 MWh	△0.6 %	
	合 計	142,973 MWh	0.4 %	
車庫証明取扱件数【 8月】(諏訪地方合計)		788 件	△7.9 %	
新設住宅着工戸数【H25年4月～7月】(諏訪管内)		432 戸	27.1 %	

□本文は、当金庫の取引先約 130 社へのヒアリング調査による取りまとめ。

地域の概況

8月の諏訪地方は、猛暑の一方で、豪雨により諏訪湖祭湖上花火大会が初めて中止になるなど、荒れた天候が商業や観光に影響を及ぼした。製造業は、受注が増加する企業が増えているものの、大手メーカーの海外生産の動きが続き、円安に伴う材料費や燃料費の高騰などのコスト高も悪材料となっており、業種間や企業間には格差が見られる。厳しい環境を指摘する企業は多く、先行き不透明感もある。建設業は公共工事が拡大し、人手不足の面が現れつつある。雇用は有効求人倍率が前月や前年同期を上回ったものの、希望退職を募る企業もあり、不安定な動きとなっている。

●製造業 「同業種でも業況に明暗」

自動車部品関連の下請企業は、総体的に足元では受注量が増加傾向の企業が多い。少数ながら、メーカーの現地生産を受けて海外進出を図ったり、新型部品への対応で設備投資を予定する企業がある。反面、円安効果が期待ほどではなく、先行き不透明感を持つ企業が増えている。金属部品加工は、エアコンや自動車関連などで受注が増加したが、前年同期比で売上減少の企業が多く、薬品や原材料価格の上昇が懸念されている。工作機械などの一般機械は自動車関連で大口径受注も見られるが、総じて設備投資需要が低調で本格的な回復傾向には至っていない。電気機械関連は一部半導体や電子部品関連で在庫調整が進み、回復の兆しを感じる企業もあるが、失速感を持つ企業もあり区々の状況となっている。精密機械関連では取引先企業の海外シフトや内製化の影響を受ける下請け企業がある。

●商業 「猛暑関係商品が好調」

諏訪地方の8月の天候は、長野地方気象台の観測史上最大となる1時間降水量を記録し、8月として5位の高さとなる平均気温だった。初めて諏訪湖祭湖上花火大会が中止になり、一部商業施設

で団体予約の利用が減少したり、キャンセルなどの影響があった。猛暑のため、飲料や熱中症対策商品、エアコンなどの売れ行きが伸びた。また、盆用品や野外活動用品の売れ行きも好調だった。大型店の競争は激しく、まとめ買いで値段を下げるリンクセールを行ったり、価格を前面に出した折込チラシの頻度を増やすなどの取り組みがあった。ガソリン価格は高止まりした。

自動車販売は、諏訪地方の8月の車庫証明件数(軽自動車除く)が788件と、エコカー補助金効果があった前年同月比で68件減少(△7.9%)した。前月比では191件減少(△19.5%)となった。軽自動車が強調で、新車のほか中古車にも動きが出ている。

●観光・サービス業 「諏訪湖畔の施設は花火大会中止が影響」

上諏訪温泉の宿泊人数は前年同期比 70%台～110%台で、横這いの施設が多い。諏訪湖祭湖上花火大会の中止で、周辺施設は料金の30%を返還するなど売上に影響を及ぼした。しかし、来年の8月15日の予約は、すでにほぼ満室の施設が多い。蓼科・白樺湖など高原の観光地は、施設により来場者数や売上の増減は区々となっている。燃料や材料の価格上昇で「今後の収益面が不安。宿泊費に転嫁せざるを得ない」とする声もある。富士見高原の夏季シーズンは売上高、来場者とも前年同期累計比で増加している。諏訪大社の8月の参拝者数は約71千人で、前年同月比約6千人減少(△8.4%)した。

●建設業 「公共工事が拡大し、人手不足感が出始める」

市町村の8月の発注工事は建築工事3件、土木工事・下水道工事61件、その他工事14件の合計78件631百万円で、前年同月比で件数は24件増加、契約金額は180百万円の増加となった。また、県関係の8月の公共工事(地元業者受注分)は16件、403百万円だった。平成25年4月～8月の累計契約は74件2,410百万円で、前年同期累計比で件数は13件、契約金額は855百万円(55.0%)増加した。公共工事の代人や職人に不足感が出始めている

民間工事は、諏訪地方の7月の新設住宅着工戸数が89戸と前年同月比18戸の減少(△16.8%)となった。長野県内の7月の新設住宅着工戸数は1,219戸で、前年同月比18.0%増加した。

●雇用 「有効求人倍率上昇も人員整理の動き」

諏訪地域の7月の有効求人倍率は、前年同月を0.06ポイント、前月を0.08ポイント上回る0.84倍となった。全国の0.94倍、長野県の0.87倍を下回る水準だが、前月比で3ヵ月連続、前年同期比で2ヵ月連続上回った。新規求人(全数)は1,497人で前年同月比173人増加(13.1%)した。新規求職者数は984人で前年同月比37人増加(3.9%)した。業種別の前年同月比の新規求人数はその他のサービス業で30.5%、飲食店・宿泊業で29.0%増加したが、運輸業で27.4%減少した。1件10人以上の人員整理は1件36人で、事業主都合による雇用保険資格喪失者は283人で前年同月比196人増加、前月より231人増加した。有効求人倍率はリーマンショック後の2008年11月に1倍を割った以降で高い水準まで戻した。ただ、昨年末から製造業を中心に人員整理の動きもあり、雇用情勢にはまだ本格的に経済の回復基調が反映されていない。

業種別動向

1. 電気機械

プリント基板
プリンター
コンタクター・
リレー

基板関係業界は低調だが、セラミックスインクが受注増の企業もある。
海外工場へ移行して国内の復調が見られず、先行き不透明感がある。
高速電源切替装置関連の受注はコンピューター用が堅調に推移し、大口の受注があり増加している企業もあるが、消費増税前の駆け込み受注の側面があり、反動も懸念される。

2. 輸送用機械

自動車

ピストンリング・
シリンダーライナー
船外機

全体的にコストダウン要請はあるものの、受注量は安定しているところが多い。増産に向けた設備投資を予定する企業一方で、生産量が落ちている企業がある。
国内では高級車や軽自動車向けが増加傾向で、一部海外生産していたものが国内生産に変わったケースもある。
減産が続いていたが、現在は回復。米国向け4サイクルエンジンが増加傾向となっている。

3. 一般機械

工作機械・専用機

搬送用機械

金型
ダイカスト

検査装置はアジアが減速傾向で台湾、韓国、中国向けが不振。先行き不透明感がある一方で、開発の話もあり、企業によって区々となっている。
業界全体は好調だが、原材料高騰による利益圧縮で設備投資を控える取引企業もある。
総体的には低調に推移している。
取引先によって区々。

4. カメラ・レンズ

デジタルカメラ

レンズ

全国のデジタルスチルカメラの7月の生産台数は506万台で、前月比16.0%の増加、前年同月比では36.5%の減少となった。7月の出荷台数は国内出荷64万台、海外出荷462万台の合計526万台で、前月比20.1%増加、前年同月比は31.7%減少となっている。
コンパクトカメラはスマホなどにシェアを奪われ、国内加工は激減。安価な製品は海外加工が主体で、国内は高品質なものが主体となっている。
双眼鏡用レンズは在庫調整が一段落し、受注がやや増加傾向。少量だが、研究機関向けレーザー用レンズ、医療機器用レンズは景況に関係なく安定している。ライフルスコープは好調を維持している。

5. 織 維

ニット

秋冬物の生産のピークの時期に入り、高級品を中心に受注が増加している。

6. 食 品

寒天

盆過ぎの天候不良で道の駅関係が減少したが、個人注文は堅調に推移している。

味噌

大豆をはじめ、原材料価格が高騰。円安の影響でビニールやダンボールなどの資材も上昇し、影響が出ている。

7. 製 材

諏訪地方の7月の木造住宅着工戸数は75戸で、前年同月に比べ14戸減少したが、4月からの累計では77戸増加している。

8. 建 設

公共工事

8月に地元業者が受注した県関係の公共工事は、諏訪建設事務所9件、林道治山工事関係2件、農地整備課4件、その他土木工事1件の合計16件で、契約金額は403百万円だった。4月～8月の累計では74件、2,410百万円となり、前年同期累計比では件数で13件、契約金額で855百万円の増(55.0%)となっている。

市町村の8月の発注工事は、建築工事3件14百万円、土木工事及び下水道工事61件、563百万円、その他工事14件、54百万円の合計78件、631百万円で、前年同月比で件数は24件、契約金額は180百万円増となった。当面の工事量は確保している企業が多い。

民間工事

諏訪地方の7月の新設住宅着工戸数は89戸で、前年同月比では18戸の減少(△16.8%)となった。前年同月比の利用関係別では、「持家」は11戸減少の79戸、「貸家」は8戸減少の4戸、「分譲」は1戸増加の6戸となった。平成25年4月～7月の累計は432戸で、前年同期累計比92戸、27.1%の増加となった。首都圏富裕層による別荘需要は増加傾向だったが、一服感が見られる。

また、長野県内の7月の新設住宅着工戸数は1,219戸で、前年同月比18.0%の増加となっている。前年同月比の利用関係別では、「持家」が820戸で7.8%増加、「貸家」は245戸で26.3%増加、「分譲」は153戸で112.5%の増加となった。駆け込み需要に対する受け取り方は企業によって区々。地元からの引き合いが少ない感触を持つ企業もある。

9. 商業

衣料	UV関係衣料の売れ行きが好調だった。
食料品	猛暑日が続き、ビール、熱中症対策飲料をはじめ、アイス、冷やし中華などの季節商品、野菜、果物、行楽用の肉などの売れ行きが伸びた。
家電製品	エアコンの需要が多く、品物が間に合わない状態の店舗もあった。
自動車	消費増税前の駆け込み需要と、過去の増加期から換算した買い替え期もあり、軽自動車が好調に推移している。
ホームセンター	盆用品やバーベキュー用品、花火などが好調だった。

10. 観光

上諏訪温泉	盆過ぎの平日に空室が目立つ施設があった。各施設ともネット予約が全体の約30%を占めるのが現状で、直前予約が増加する傾向が続いている。
蓼科・白樺湖・車山等	本格的なシーズンで好天が多く、宿泊客が増加した施設と、盆過ぎごろから減少した施設がある。外国人観光客は増加傾向が続いている。
下諏訪温泉	宿泊客数は施設によって区々。合宿を多く受け入れ、客単価は低いものの、宿泊客数が大幅増加した施設がある。
諏訪大社	上社・下社合わせた8月の参拝者数は約71千人。前年同期比では約6千人、8.4%の減少となった。

●企業からのコメント

- ・ 全体的にコストダウン要請はあるものの、受注量は安定している。燃料代、輸送費の価格上昇は懸念材料。(自動車部品関連製造業)
- ・ 日本の大手メーカーが、海外のローカルメーカーの設備でもいいという考え方になってきており、今後の受注量が心配。(電気機械関連製造業)
- ・ 最低賃金を引き上げると、製造業ではさらに人を削減して機械を入れることも予想される。経営者なら機械を選ぶので、機械の価格相当のパート労働者が減り、結果的に家庭所得が減ってしまうこともあるのでは。(一般機械関連製造業)
- ・ 親会社の受注が増加しても即座に売上が回復するわけではない。(精密機械関連製造業)
- ・ 首都圏富裕層による別荘需要は増加傾向だったが、一服感が出始めている。(建設業)
- ・ 駆け込み需要は期待したほどではないが、手持ち工事量は充足している。(建設業)
- ・ 諏訪湖の花火大会中止で団体バス旅行客の利用が減少し、お土産品の購買が落ち込んだ。(商業)
- ・ 諏訪湖の花火大会中止で、各施設は宿泊客に料金を返還し売上は減少したが、大きなクレームなどの悪影響はなかった。(観光業)